

## 今週のビルマのニュース 2009年12月25日【0947号】

### 経済産業審議官がビルマを訪問 外相も年明けに

・岡田外相が1月6～7日にビルマを訪問する方針を固めた。首都ネピドーと最大都市ラングーン(ヤンゴン)を訪れる予定で、軍政トップ・タンシュエ將軍のほか、民主化指導者アウンサンスーチー氏との会談の可能性を探っている(22日読売新聞)。

【追記】外務省によれば上記日程での訪問予定はない。

・石毛博行経済産業審議官がビルマを訪れ、22日にはテインセイン首相と会談した(23日新華社)。

### 中国副主席が軍政トップと会談 経済協力拡大を約束

・中国の習近平国家副主席がビルマを訪れ、20日に軍政トップ・タンシュエ將軍と初めて会談、水力発電所や石油パイプラインの建設など計16件の事業に関する覚書を交わした。ビルマ・中国間の石油パイプラインの建設・運営権は中国のCNPCが取得した。ビルマ側はまた、中国との国境地帯の安定を維持することも約束した(21日日経、ロイター)。

### 最高裁、スーチー氏の上告を正式に受け付ける

・ビルマの最高裁判所は21日、民主化指導者アウンサンスーチー氏の上告審理を開始することを決定した。氏は8月に禁固3年を宣告され、現在は自宅軟禁されている。審理の期日は未定(21日APほか)。

### 米、スイス大手銀行に5億ドルの罰金 制裁対象国と取引

・スイスの大手銀行クレディ・スイスが、米政府の経済制裁下にあるイランやスーダンなどへの送金に関与した疑いで米当局の捜査を受け、計5億3600万ドルの罰金を支払うことに合意した。ビルマやキューバとの取引にも絡んでいたとされる(17日CNN)。

### 国民民主連盟(NLD)が執行部の改革に乗り出す

・アウンサンスーチー氏は16日、自らの政党、国民民主連盟(NLD)の幹部3人と面会し、党の中央執行委員会の改革を提案した。幹部も改革に賛成した。同委は委員11人の大半が80～90代である上、病身の委員も多いため、以前から改革の必要性が指摘されていた(17日イラワディほか)。

### スティグリッツ教授「政治と経済は切り離せない」

・ノーベル経済学賞受賞者のジョセフ・スティグリッツ氏がビルマを訪問し、14日に行われた会議で「経済と政治は切り離すべきではない。ミャンマー

が安定と安全を達成するには幅広い参加と包括的なプロセスが必要だ」と述べた。また「天然ガス輸出による収入を賢く使わなければ、有益な機会が無駄になる」とも述べた(17日ミジマほか)。

### ビルマ出身米国人がまた拷問を受ける

・インセイン刑務所に収容中の米国籍の民主化活動家ニーニーアウン氏が拷問を受けていることがわかった。氏が今年、政治囚の収容状況に抗議してハンストを行ったことへの報復だとされる。12月3日以来、米大使館員による面会も認められていない。氏は今年9月にラングーン国際空港に到着した時に逮捕され、その後起訴された。取調べ中に拷問を受けたことも判明している(22日フリーダムナウ)。

### 女性政治囚が収容先の刑務所で死亡

・2007年9月の反軍政デモに参加したため禁固刑判決を受けていた女性(38)が23日、インセイン刑務所病院で死亡した。1988年以来、収容中に死亡した143人目の政治囚となる(24日イラワディ)。

### ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし

### イベント情報

・第62回カチン州の日の式典 主催：カチン州の日式典実行委員会・在日カチン民族民主化運動(みらい座池袋豊島公会堂、1月10日18時～)

・公開セミナー「検証：ODAを問う～メコン開発から見た環境と人権への影響」主催：メコン・ウォッチほか。内容は「ビルマ(ミャンマー)～日本の援助が軍政ではなく国民を支えるためには」ほか(人権教育啓発推進センター、人権ライブラリー会議室、1月23日13時半～)★要申込

### もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ  
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165